

<白金標準、10000 円の下値抵抗を強めた値動き・・・>



(出所：オアシス)

トランプ大統領はイランの電力施設やインフラ施設への攻撃を行う 90 分前に、イランが再提示した停戦案を受け、ホルムズ海峡の閉鎖の解除を条件に 2 週間の停戦で合意している。また先週末からパキスタンの首都イスラマバードで米国とイランの停戦協議を開催している。しかし停戦協議を前にガリバフ国会議長は「交渉開始前に、イスラエルの停戦とイラン資産凍結の解除である、この二つの条件が満たされなければならない」と発言しており、ホルムズ海峡を人質に有利な交渉を行う動きが見られ、協議が進展するか不確実性が高くなっている。特に今回のイラン戦争では、ホルムズ海峡の閉鎖を受け原油価格が大きく反発しており、世界でエネルギー価格が上昇している。白金では、世界の 7 割の供給行っている南アフリカの鉱山会社で、電気料金の値上げと合わせて今回のエネルギーコストの上昇が悪影響をもたらしている。また今回の戦争で従来のエネルギー活用が変化を示しており、自動車部門では水素エネルギーの活用が活発化するきっかけとなる可能性が高まっており、ゲームチェンジャーになり得る要素を秘めている。そのため需要の増加に支えられ、当面は 10000 円の抵抗を見せながら 11000 円へ向けた値動きに思える。

<テクニカル>

白金標準先物の日足を MACD と RCI で見た場合は、MACD では **MACD** が上昇し、**シグナル** も切り上げている。RCI では**短期**が切り上げながら、**長期**も切り上げている。また日足が平滑移動平均線のレンジを上回っている事から 10000 円が下値抵抗に思える。

レポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行って下さい。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 6,900,000 円(2026 年 4 月 13 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 108,240 円(2026 年 4 月 13 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)

証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>